

# 款11 公債費

項1 公債費  
目1 元金

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,188,560,000円	9,188,559,198円		802円

目的	市債の適正管理				
指標	普通会計市債残高	目標	1,123億円	実績	1,129億円
説明	前年度末一般会計市債残高105,328,737千円に対する償還元金9,188,559,198円を支出しました。なお、市債発行額を償還元金以下に抑えたことにより、今年度末一般会計市債残高は104,684,936千円となり、前年度に比べ643,801千円減少しました。				

〔地方債償還金〕 9,188,559,198円 (その他特財 250,895,703円)

年度	7	8	9	10	11	12	13	14
年度末市債残高 (億円)	767	893	999	1,055	1,061	1,054	1,053	1,047

目2 利子

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,193,980,000円	3,193,474,018円		505,982円

〔地方債利子〕 3,193,227,713円 (その他特財 82,651,318円)  
〔一時借入金利子〕 246,305円

財政構造の弾力性を判断する指標として、普通会計において、公債費比率（標準財政規模等に対する公債費充当一般財源等の比率）、公債費負担比率（一般財源総額に対する公債費充当一般財源の比率）がありますが、これらの比率が高くなることは、財政硬直化傾向を示すものであり、下記の推移のとおり硬直化が進展しています。

年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
公債費比率 (%)	12.5	12.6	12.5	12.9	13.6	14.4	15.0	15.2	16.0	17.1
公債費負担比率 (%)	11.6	11.7	11.7	12.2	13.6	14.9	15.2	15.3	16.6	17.8

# 款12 予備費

項1 予備費  
目1 予備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100,000,000円	0円		100,000,000円

各費目への充用は行いませんでした。